

平成 29 年度 鬼無里公民館運営審議会 会議録

日 時 平成 29 年 6 月 13 日（火） 午後 6 時 00 分～
場 所 鬼無里公民館 2 階 講義室
出席者 鬼無里公民館運営審議会委員 5 名（欠席 1 名）
鬼無里公民館上里・中央・両京分館長 3 名
鬼無里公民館職員（事務局） 2 名
傍聴人 なし

1 開 会

2 委嘱書の伝達 運営審議会委員へ公民館長より伝達

3 あいさつ

館 長 本日委員の皆さんには何かとお忙しい中、また一日のお仕事等で大変疲れのところご出席いただきありがとうございます。また皆様には日頃から本館ならびに分館の運営につきましてご指導ご協力をいただいておりますことこの場をお借りしてお礼申し上げます。

本審議会は長野市立公民館条例に基づいて設置されている審議会でありまして、委員の任期は 2 年間でございます。本日は委員の皆様の任期の初年度にあたりただ今委嘱書をお願いしたところです。本日この会議では初めに委員の皆さまの互選で審議会長をお決めいただき、その後会長から職務代理委員をご指名いただきます。その後次第に沿ってご審議をお願いします。

また、後ほど出てまいります但本年度の公民館の職員体制については上里分館の分館長に酒井政人さん、主事が徳武昭江さん、中央分館分館長が宮下茂さん、主事が有澤章さん、両京分館分館長と主事それから公民館職員については前年度と同じですので、引き続き皆様方からご指導いただきますようお願いいたします。本日はよろしく申し上げます。

4 鬼無里公民館運営審議会会長及び職務代理委員の選任

委員の互選により、審議会長に前公民館長和田修さん選出
和田修審議会長より職務代理委員に米山ひろ子さんを指名

5 審 議 長野市立公民館条例により会長が議長に就任

会 長 (1) 鬼無里公民館概要及び活動の重点目標について事務局から説明を求める。

事務局 <資料No.3 により説明>

会 長 ただ今の事務局からの説明、主に活動の重点目標について現状に合わせた内容に変更したとの説明があったので皆さんの意見をお聞きしたい。

委 員 (1) に利用者のニーズに応じたとあるが、どのような方法でニーズを把握するのでしょうか。また、(4) で施設の適正な維持管理とあるが、本館の耐震化がな

されていないということで、支所へ移すなどの話も聞きますが今後の見込みは
どうですか。

事務局 利用者のニーズについては、各講座の終わりに利用者アンケートを実施して
います。特に今年からは本課への事業報告についてもアンケート結果を報告す
ることになりましたので引き続きこのような形で把握に努めます。

本館施設の耐震化については、支所への移転という話もありますが、これに
ついては本課と支所施設担当課で調整ができてからになると思いますが、現在
本課が中心となって調整していますので、この段階では明確なお答えができな
い状況です。

会 長 よろしいですか。

本館以外に分館もあるわけですが、私、先日両京分館を利用しましたが、耐
震化工事によって大変きれいなり、使いやすく安心して利用できる施設になっ
たなと感じました。本館についても神城断層地震当時、館長をしておりました
が自分の家よりは安心でき、被害もなく立派な施設だなと感じています。今後
も適正管理をお願いしたい。

他にいかがですか。無いようでしたら本件承認ということをお願いします。

次に(2)平成28年度鬼無里公民館事業報告について説明を求める

事務局 <資料No.4により説明>

会 長 ただ今の事務局からの説明について、ご意見・ご質問ありましたらお願いし
ます。

委 員 地域の告知放送でもいろんな事業が紹介されている。自分自身はあまり講座
に参加することはできなかったが、世代間交流から始まって多くの事業が行わ
れている。特にのびのび子育て学級は合併時に他の公民館では同様の内容で実
施されていないということで切り離されそうになったが、今日まで継続され地
区外からも大勢の参加者があるということで、よく公民館でまとめて実施され
ているなとうれしく感じている。この中でいろんな形の事業があるが、介護保
険で国の総合事業というのが始まって、要支援の方を地域で見なければ
ならないということがある。住民自治協議会で地区内の施設を利用しながら月
2回上里、中央、両京地区の3地区でやっているが、車で迎えに来てもらって
会場へ行ってできるからいいが、今後公民館が受け持つ事業というのがます
ます身近に必要なようになってくるなと感じている。ここまで来て何かをしなけれ
ばいけない事業が多いが、身近な分館でできる事業もこれから取り入れて行っ
てもらえたらいいなと思います。高齢化に伴って移動手段も制限されること
からそのようなことも研究しながら進めてもらえたらと希望を含めて申し上げ
ました。

会 長 資料を見ると、生まれたばかりのお子さんから高齢者の方まで、幅広い世代
の方が対象となる講座を開いていただいているということで大変だとは思いま
すが、参加人数は昨年と比較してどうだったのでしょうか。

事務局 比較できる事業の総数では若干の増加となりました。

会 長 是非 29 年度もこのような事業を続けていただき、地域のために頑張っていた
だきたいと思います。

他にございますか。無いようでしたら本件も承認ということでお願いします。

続いて(3)平成 29 年度鬼無里公民館事業計画について、①から③まで一括し
て事務局から説明を求めます。

事務局 <資料No.5、6、7により説明>

分館長 <資料No.6について補足説明>

会 長 それぞれから説明がありましたが平成 29 年度事業計画についてご意見ご質
問がありましたらお願いします。

委 員 小学校に携わる者として、子どもたちがいろんな形で関わらせてもらって
いてほんとうにありがたいことだと感じています。わんぱく教室については、本
年度から親子わんぱく教室となり親と子でいろんな活動ができるということで
先日釣り体験がありまして今の子どもたちは釣りをする機会が無いためとても
良い経験ができた。釣りは当りを待つということが必要で、今の子はなかなか
待つということができなくて次から次へと何でもやっていくという傾向があり、
当りを待つという経験はとても良いことで貴重な経験をさせてもらいました。

また、先頃学社連携学習で奥裾花自然園へ行ってきました。今年は水芭
蕉のちょうど良い時に行かせてもらい残雪が 1m 以上で 4～5m の雪山があっ
て子どもたちそこを滑り降りて時ならぬ雪遊びができたという感じなんです
が、ほんとに雪の残る、地域の奥裾花の大自然に触れるいい機会だったなと思
います。秋には一夜山への登山も一緒に行っていたなど公民館活動は子ども
たちがお世話になっていてありがたいと思っています。

本館、分館のいろんな活動を見てみて、鬼無里文化芸術祭の主題とねらいの
中に「生活に密着した文化活動や生きがいがづくりを通して」とある生きがいが
づくりということが公民館活動の一番大事なことなのかなと思いました。学びの
場でもあるし、集いの場でもあるし、いろんな人がつながる場でもあるけれど
も、そういったことを通じて一人ひとりが生きがいを感じながらいろんな取り
組みをしていく、乳幼児から高齢者まですべてを通じてこの生きがいがづくりに
つながっていくと思いました。いろいろな活動に取り組んでいただき大変あり
がたく思っています。

会 長 他にご意見ありますか。

委 員 昨年まで分館長を務めておりお世話になりました。昨年は自身もわんぱく教
室の釣りとはひょうたん工作に参加したことがありますが、子どものたちのほ
とんどが大人任せになっている傾向があるので、今年はリーダーを決めてその
子がグループを引っ張っていき、難しいことが出てきたら大人が手を出すよ
うな形がいいのではないのでしょうか。自分から工夫してみようという姿勢が少
ないように感じる。化石探しにしても初めから見つけておくのではなく、自分
たちで見つけ出すような自分から動くようなやり方にもっていければ良いと思
います。

会 長 ありがとうございます。そのほか全体を通じていかがでしょうか。

委 員 自分自身公民館事業について、おでやれくらぶ講座以外の講座には参加できていないが、お子さんから高齢者の方まで様々な講座があるけれど出席する人の年代はどうなのかなと気にしている。のびのびやわんぱくは小さいお子さんや決まった若いお母さんたちが出ていると思うが、ときめき講座・お菓子づくりなんかは若い女性の方なんかも参加されているのでしょうか。

事務局 若い方も参加されていますし、小学生のお子さんも参加しています。

委 員 私が参加しているおでやれくらぶも今年は参加者が増えて若い方も参加されるようになって良かったなと感じています。

委 員 トガクシショウマを育てる講座が好きで毎年のように参加しているが、ちょっと趣味の講座って言う感じで参加者が同じような顔ぶれになってしまっているような印象を受けているんですが、環境学習事業なのでトガクシショウマを鬼無里のどこかに育てるとか学校の日陰で育てるとかそんな風に広がっていくようになればいいと希望します。

事務局 ただ今ご意見いただいたように、トガクシショウマについては同じ方が参加されることが多い現状です。昨年までは実技講座だけで植え替えができたならそのまま持ち帰る形でしたが、本年度は先生の講義をしっかり受けてから実技を行う予定で進めています。地域で広げることに 대해서는現在公民館でもトガクシショウマを育てていますので、学校へも広げる取り組みになるようにみなさんからもご協力をお願いしたい。

会 長 昨年から家庭・地域学びの課へ名前が変わったということで、地域と密着というか、今まで講座をただすればいいということではなくて自分から積極的にになにかしていくように変わってはいると思うんですけど、今まで鬼無里ではその辺のとも取り入れながら行ってはいるんと思いますが、今後ますます地域での地域の学びと言うか子どもたちに地域の文化とかを学ばせたり、自らこの自然を生かしたものを体験させてあげる、その様なことを取り入れていただければより地域との結びつきが強くなるんじゃないかと感じています。

他に無いようでしたら平成 29 年度の事業をご承認いただきたいと思います。

6 その他

事務局 公民館の利用状況報告及び鬼無里公民館ホームページについて紹介する

7 閉 会

館 長

長時間にわたり熱心にご審議いただきありがとうございます。

皆様方からいただきましたご意見等々参考にしながらよりよい活動となりますよう努力してまいりますのでお願いします。

以上で閉会といたします。本日はありがとうございました。

(終了 午後 7 時 30 分)